



今年のとめとして…

生徒の人生に役立つ学校(上)

私たちが行う教育の基盤には、いつも学習指導要領というものがあるのですが、基盤となる重要なポイントとして挙げられるのは「社会に開かれた教育課程」の推進です。別の表現で言えば「生徒にとって、彼らが社会に出た時に役立つように、授業や行事、諸活動のすべてを見直しなさい」という、とても重たいお題をいただいています。

そして今、その社会(世の中)が大きな変化の中にあります。

〈社会の変化(項目のみ)〉

- ・価値観
- ・グローバル化
- ・デジタル化
- ・人口減少
- ・異常気象
- ・人権への意識
- ・働き方 など



これらが複雑に互いに絡み合っただけでなく、さらに、予測が困難になっています。(これがVUCAと言われるものです)

これらのことから、「主体性や積極性」「対話力や表現力」「ものごとを理解する力や深く掘り下げて考える力、判断力」を育て、「学びに向かう力」や「人間性」を生徒の中に培うことが求められています。近年、高校や大学の入試が変わってきていますが、これらを受けてのこと、すべてが繋がっています。

〈(中) そこで本校では(具体的な取組)〉

「生徒の人生に役立つ学校になるための改革」として進めてきた取組を挙げてみたいと思います。

・生徒の意見を前面に出す機会を多くしています。(生徒会活動や行事等での実行委員会での活動 など)

・生徒が人前で発表したり、互いに話し合う機会を多く作っています。(行事や集会での発表、年間を通じた個人研究と発表、校長面談、授業等での班別協議 など)

・授業以外でも、いろいろなことにチャレンジできる機会を創っています。(各種検定や発表会、コンクールなどへの参加支援 など)

・学校外の人の話を聞く機会を多く作っています。(合同高校説明会、外部講師を招いての授業や講演会など)

・生徒が自分の将来を考える機会を多くしています。(キャリア・マネジメントシート、キャリア・ポートフォリオ、書籍や進路コーナーの設置、オープンスクール参加の奨励 など)

・自主的な学習ができる環境を作っています。(放課後の学習室、第二図書室、宿題の削減 など)

・デジタル化や機械化を進めています。(パソコンや電子黒板の積極的な活用、学級に一台ずつ掃除機導入など)

・生徒が自分のことは自分で考えるために、自由度を広げました。(髪型、ソックスやタイツの色、ひざ掛けや座布団の使用 など)

これらのほか、来年度には

・「新しい制服(新人生)」

・「新しいパソコン」(導入時期は未定)

・「新しい生徒会組織」になり、

・「部活動の地域クラブ化」が進みます。



〈(下) これらを進めるために〉

上段で「なぜ改革が必要か」、中段で「本校での具体的な取組」を記述したところですが、この下段では、先生たちの改革について記します。

本校では、生徒たちを導き、支える先生たちが、

もつと自己研鑽に励み、生徒たちに話して聞かせ

たくなるような豊かな人生を送ることができ

よう、働き方改革も進めてきました(内容は割愛。ただし、私は「働く」時間は勤務時間内に収めるべきと考えていますが、生徒の信頼を得たり、憧れられたりするための努力は、教育公務員たる教員にとつて、行住坐臥、常に行うべきものと思っ

ています。(この「人としての充実」と「教師としての充実」が重なり合うところが「教育公務員の特殊性」と呼ばれるもので、残業手当を付けにくい要因と言えますが、教員という仕事の大きな魅力だと思っています。)

また、親よりも長い時間、生徒に接する教員は、

様々な情報が錯綜する時代だからこそ、生き方の一つの手本として(反面教師ではなく「感化」や「憧れ」の対象として)充実した、いわゆる「幸せな」人生を歩まなければいけない、そして、教科授業者は、

我が行う授業の学習内容が人生に役立つ、人生を豊かにするということを示さなければいけないと思っ

ています。なぜならこれが「社会に開かれた教育課程」を推進するエネルギーだからです。

学習指導要領に示された教育の実現は、ここに成否が掛かっていると考えています。

来年も本日お示しした上・中・下のことを踏まえ、生徒たちが今と未来を生きる上で、あの学校

で学べて良かったと言ってもらえるよう一生懸命に頑張っ

ていきますので、今後とも御理解と御協力をお願いします。



《心に響いた言葉》 「去年までは決めていましたが…、もっと広く知りたいので、今は検討中です。」  
校長面談での「将来就きたい職業」についての生徒の発言から。揺れながらも前を向く表情がとても良かったです。



シリーズ「学校教育の充実」

第二期南島原市教育振興基本計画から

〈第十回〉

校種間の円滑な接続

「校種」とは、小学校や中学校というように、学校の種類の違いです。この「違い」を渡るとき、子どもによっては、新しい環境に慣れなかったり、学んだことをリセット（幼児返り）してしまったりすることがあります。そのことについて振興計画には次のようにあります。

幼保小連携を推進し、幼児期における遊びを通して培った主体性等の資質・能力を小学校以降の教育にしっかりと引き継ぎ、伸ばします。（中略）  
また、小・中学校においては、九年間を見通した教育課程の編成や学習規律を確立します。

本校は、〇之津小学校や〇加高校と連携して、「ふるさと学」の研究を進め、今年、発表会を開催しました。このことを通じて改めて感じた（知った）のは、それぞれの校種で、思ったよりも遥かにレベルの高い充実した学習を重ねているということでした。このことを踏まえ、今後も入学説明会やホームページなどで状況を共有し、高校まで一体となった学びの連続性を継続させていきたいと思いをします。



〈コラム 港町ブルース〉

漢字を読み解いて知る

初日の出に拝む理由

「読書する人だけがたどり着ける場所／齋藤孝」という書籍に次の記述がありました。

「何気なく使っている漢字の『ひひひひひひ』の成り立ちには、とても奥深い世界があります。」

もうすぐお正月です。

元旦の「旦」という字は、

日の出を表しているとされています。

そして「元」は、はじまりであるとともに、

全てのエネルギーの源と言われています。

（「元氣」の意味も同じ）

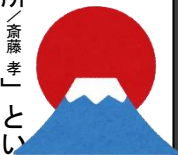
つまり、一月一日の日の出は、全てが

新たに動き出すダイナミックな瞬間です。

一年の計は元旦にあり。今年も早起きして、

初日の出を拝み、エネルギーを満タンにしたいと思えます。

みなさん、よいお年を。



《 主な行事予定 》

〈令和6年度（令和7年）1月〉

- 8日（水）始業式（給食あり）  
実力テスト（3年生）～9日
- 9日（木）市学カテスト（1・2年生）
- 10日（金）生徒会役員任命式
- 24日（金）学習コンテスト（英語、全学年）
- 28日（火）公立高校特別選抜検査  
（合格発表は2/31←3年生は午後下校）
- 31日（金）漢字検定

〈令和6年度（令和7年）2月〉

- 4日（火）学年末テスト（3年生）～6日
- 7日（金）入学説明会（新入生とその保護者）
- 18日（火）公立高校一般選抜検査～19日  
（合格発表は3/5←3年生は午後下校）
- 19日（水）学年末テスト（1・2年生）  
～21日
- 25日（月）授業参観、学年育友会、評議員会

ふるさとの文化・歴史・人物——〇之津中教育の視点から

「素麺（そうめん）」

全国に数ある「素麺」産地の中で、ふるさと納税の人気ランキング堂々第一位！の長崎県。その中の一番の産地である南島原市の工場で、販路拡大を海外に求めて頑張っている所があるぞ！という記事を見つけました。

上村製麺は一九七二年に創業し、全国二位の手延べそうめんの生産量を誇る同市で高品質の製品を生産。（中略）

同社は「下請け構造」から脱却を図るとともに、在留邦人も多く、そうめん需要が見込まれるシンガポールへの輸出を決意。（中略）品質・衛生管理の高度化を図り、顧客ニーズを満たす商品を海外市場に展開し、輸出拡大に取り組む。（長崎新聞から）

素麺の課題の一つは、オールシーズンで消費されるための食べ方改革です。「にゅうめん」が有名ですが、熱い液体に入れれば一〜二分で出来上がるのですから、可能性は無限大！今年のお正月、なんでもかんでも素麺を入れて食べまくろう！

（…とはいっても無理はなさらぬよ）



【お礼】

本年中は、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、まことにありがとうございました。来年の巳年は「挑戦」や「前向きな変化」の姿勢が示されるとのこと。それと「金運」も…何はともあれ、生徒たちが「笑顔」で過ごせるよう精進していきたいと思いをします。

みなさま、ごきげんよいお年を。